



3月6日、山都町消防団グラウンドにおいて、山都町消防団出初め式が開催され、境公夫団長以下606名の団員が一同に集結しました。今年は小型ポンプ操法・ポンプ車操法が実施され、目頃の成果を披露されました。通常点検では、蘇陽中学校、清和中学校の少年消防クラブ、明光保育園・みたけ保育園・さくらんぼ愛園の幼年消防クラブも参加しました。各競技の結果は次のとおりです。

- ◆総合
 - 優勝 第2分団
 - 2位 第7分団
 - 3位 第14分団
- ◆通常点検の部
 - 優勝 第2分団
 - 2位 第7分団
 - 3位 第14分団
- ◆小型ポンプ操法の部
 - 優勝 第13分団
 - 2位 第2分団
 - 3位 第12分団
- ◆ポンプ車操法の部
 - 優勝 第1分団
 - 2位 第8分団
 - 3位 第6分団

平成27年度熊本県農業コンクール 優良賞&特別賞 ~新人王部門~ 経営の「見える化」を進める

中畠由博さん、友美さん



第56回を迎えた熊本県農業コンクール大会の新人王部門において、中畠由博さん、友美さんご夫婦(白小野)が優良賞並びに特別賞を受賞されました。この大会は県・JAなど農業団体・熊本日日新聞社主催で自らの農業経営・技術の改善に積極的に取り組む県内の優秀な農業経営者や集団を表彰し、併せて県民への農業理解を図り、農業・農村の振興に寄与する目的で開催されています。

中畠さんは26歳のときに就農され、積極的に簿記やイチゴ栽培の作業等を学んでこられました。現在、イチゴを主体に水稻なども栽培されています。管理作業の「見える化」を目指し、今では毎年経営を分析し、家族で共有することで次の計画へ繋げておられます。またイチゴの観光農園や加工品販売にも取り組み、なかはた農園のブランド化を図られています。

現在、イチゴ部会に所属し現地検討会等で技術の向上に取り組まれています。また、「山都町農食観光塾」を受講され、ネットワークを作り地域づくりに取り組まれています。

山都町の名木【第10回】 のじり おおげやき 野尻の大欐

〔樹高〕約24m 〔幹囲〕約6.5m
〔樹種〕ニレ科ケヤキ属
〔指定等〕山都町天然記念物(昭和53年5月19日)



矢部地区野尻の小野尻集落にある薬師堂境内のケヤキです。このケヤキは、推定樹齢が約700年程度と伝えられている落葉樹の巨樹で、幹の下方で巨樹のタブノキ(クスノキ科タブノキ属)と相接する状態をなしています。タブノキは、ケヤキとは異なり冬の時期でも葉を繁らせている常緑高木です。また、これら樹木は日光のもとで生育する「陽樹」と日陰によく生長する「陰樹」に分類した場合、ケヤキが「陽樹」、タブノキが「陰樹」に区別されます。落葉樹で陽樹のケヤキと常緑樹で陰樹のタブノキという性質の異なる2種の樹木が一体となり繁茂しているという珍しく縁起のよい木々で、双方とも良好な樹勢を保っています。

ケヤキが位置するお堂は、現在「薬師堂」と呼ばれていますが、寛文7年(1667)の「國郡一統志」には小野尻村で薬師を祀る寺院として「醫福寺」と記されていることから、当初はその名称であったと推測されます。このお堂とその敷地には、地域の方々の信仰と憩いの場として守り継がれてきた証がいくつも残されています。大ケヤキもまた、大切に見守られてきた地域のシンボルの一つといえるでしょう。

〔参考文献〕・北嶋雪山著『國郡一統志』(昭和46年、青潮社刊)
※その他 樹木医の今村順次先生にご協力をいただきました。



①みたけ保育園幼年消防クラブ ②通常点検「第2分団」
③宣誓を述べる坂本団員 ④小型ポンプ操法「第13分団」
⑤境公夫団長 ⑥総合優勝「第2分団」 ⑦ラッパ隊の演奏
⑧通常点検「蘇陽中学校」 ⑨ポンプ車操法「第1分団」